

施策評価シート(令和3年度)

(基本施策の大綱) 2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実

(基本施策) (5)学びによる生きがいの創出

(評価担当者)

教育部長 亀山 隆

■基本施策が目指す姿

市民が、それぞれの学びの成果によって、地域社会で活躍しています。

■関連する分野別計画

亀山市生涯学習計画

■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	市立図書館の入館者数	人	104,474	H27	101,783	102,247	97,685	61,500	65,050	120,000
2	生涯学習講座の受講者数	人	25,320	H27	24,185	22,106	23,098	8,590	8,218	27,850
3	生涯学習人材バンクを活用した講座開催数	回	14	H27	12	12	13	9	2	17
4										
5										

■市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	生涯学習講座が充実している	重要度 0.91	0.83	0.81	3項目ともに概ね横ばい状態を示しているが、公民館に関しての満足度については、コロナ禍において地域における出前教室等の講座休止が影響しているものと考えられる。図書館の充実については新図書館への期待度と相反関係にあるとみることもできる。
		満足度 0.18	0.13	0.15	
2	公民館などの施設や行事内容が充実している	重要度 0.75	0.70	0.68	
		満足度 0.09	0.12	0.04	
3	図書館が充実している	重要度 0.94	0.91	0.91	
		満足度 ▲ 0.07	▲ 0.15	▲ 0.14	
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んだ	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を前提として、講座などを実施するための工夫を模索することで、学びの機会提供、新図書館の整備と併せた読書活動の展開を維持することができた。また、誰もが学べる機会提供の充実に向けて、ICTを活用した新たな手法の実践も積み重ねることができ、「かめやま人キャンパス」においては初めての「かめやま人」の認定を行うに至った。図書館においても感染症拡大防止対策を講じながら、関係団体との連携のもと読書活動の推進イベントを実施することができた。また、学校等の社会見学の代替となる新たな取り組みを行うことで、子どもの読書活動へのきっかけづくり等に取り組んだ。これらの状況と新たな視点を踏まえて、生涯学習計画の策定を行うことができた。一方で、「学び」総体の実績としては減少した状況にあり、新図書館に向けた市民意識醸成や情報発信は不十分であることから総合判定をBとした。
反省点・課題	
<p>亀山市立図書館整備基本計画の具現化に必要な図書館サービスを具体的に展開する亀山市図書館サービス実施計画に基づき、新図書館開館に向けて、引き続き計画的にサービスが実施できるよう進めていく必要がある。また、地域読書活動拠点の整備に向け、引き続き地域活動団体等との意見交換や今後のサービス展開について検討を図る必要がある。地域人材育成の学びとしての「かめやま人キャンパス」は、起業人において初めての「かめやま人」認定にまで至ったが、講座によって進捗に差があり、修了までの均質化を図る必要がある。また、ニューノーマルを踏まえて「かめやま人キャンパス」においてはオンライン講座などの展開が図れたが、公民館講座をはじめとして様々な状況下や対象者に対して学びの機会提供ができるように、生涯学習計画に基づいて「誰でも・どこでも」学べる環境整備を進め、取り組みや成果を可視化して、これまで関心の薄かった市民への学びにつなげていく必要がある。</p>	

今後の展開方針

令和5年1月26日の新図書館開館に向けた市民の機運醸成に向け、図書館フォーラムや開館前イベントなどを計画的に実施し、図書館サービス計画や子どもの読書活動推進計画を踏まえた新図書館での展開や地域の読書活動拠点について、関係団体なども協議を重ねて確立していく。また、新図書館への移転準備として、現在の図書館の休館に伴う周知等を丁寧に実施する。生涯学習計画に基づいて誰もが学べる機会の充実に向けて、学びのあり方について講師や地域まちづくり協議会との意識共有や課題整理を重ね、「質の高い教育をみんなに」の視点から次年度に向けて新図書館を新たな学びの場の活用手法を障がい・高齢者など従来の講座の開催手法では参加困難な学び手への配慮、リカレント教育、高校生などに向けたカリキュラムも併せて検討を行うとともに、「健康都市大学」との一体的な学びの構築に向けて十分な連携を図る。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 地域へ生かせる学びの展開									
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できたか】						
B まずまず進んだ	活動	かめやま人キャンパスのうち起業人養成講座については、オンラインと会場参加を併用したハイブリット型の講座を実施したほか、3年間の学びの成果を発表する場としてプレゼン大会を企画し、オンライン配信を行うなど、できうる限りの手法を模索して実施した。その他の講座については、修了に必要な十分な講座回数を確保することができず、令和4年度も引き続き講座を開催することとした。	評価	かめやま人キャンパスでは、起業人養成講座を修了した10人の受講者について、かめやま人として認定することができた。同キャンパスを核とした学習体系による学びの展開により、学びの成果を地域課題の解決に生かす施策の推進に寄与することができた。					
				関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動
				17055	地域人材キ拉里育成事業	主	15,800 / 13,590	B	A
				7006	一般事業(商工業振興事業)	標	11,020 / 4,890	B	B
事業以外の取組	内容						活動	成果	

施策の方向② 読書活動の推進									
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できたか】						
B まずまず進んだ	活動	新図書館の施設整備では、家具工事などの契約を締結し、事業の進捗を図るとともに、管理運営では、令和4年3月議会に「亀山市立図書館条例の全部改正」の議案を提出し、条例改正を行った。また、図書館フォーラムを開催することにより、新図書館の開館に向けた機運を高めることができた。	評価	新しい時代に必要な機能を備えた図書館整備の取り組みを進めることにより、市民の読書活動を推進する施策に寄与することができた。また、第4次亀山市子どもの読書活動推進計画を策定する中、課題点を整理しながら保育所等を対象とした選書置き置き支援の継続や小規模小学校を対象としたさわやか文庫の開始など子どもの読書活動を推進する取り組みを行った。					
				関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動
				17107	図書館整備事業	主	743,736 / 742,086	B	B
				4072	健康増進事業	標	8,534 / 7,668	A	A
事業以外の取組	内容						活動	成果	
	亀山市子どもの読書活動推進計画(第4次亀山っ子読書推進プラン)策定						A	A	
「図書館まつり」月間の開催						A	B		

施策の方向③ だれもが学べる環境づくり									
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できたか】						
A 順調に進んだ	活動	中央公民館講座について、コロナ禍の中、一部講座が中止となったが、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して講座を運営することで、可能な限り学びの機会を提供し、様々なジャンルの講座を実施することができた。また、「学びのガイドブック」を発行することにより、多様な主体による学びの情報を一元化して発信した。	評価	中央公民館による様々なジャンルの講座の実施、「学びのガイドブック」による学びの情報発信により、だれもが学べる環境づくりを推進することができた。					
				関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動
				17055	地域人材キ拉里育成事業	主	15,800 / 13,590	B	A
				17086	かめやまげんきっこ育成事業	主	1,047 / 692	B	B
				4072	健康増進事業	標	8,534 / 7,668	A	A
事業以外の取組	内容						活動	成果	